がんばろう！東北

国土交通省東北地方整備局　北上川下流河川事務所
平成２９年３月３１日

北上川下流河川事務所　平成２９年度 事業概要

北上川下流河川事務所では、北上川下流及び鳴瀬川沿川地域の安全で安心できる社会基盤の形成、良好な水辺環境の保全、個性豊かで活力ある地域づくりの支援を目指し、河川事業の推進を図ります。

平成29年度は、約31億円の予算をもって、流下能力対策（築堤、河道掘削）を行うなど、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進します。また、吉田川上流部では、平成27年9月関東・東北豪雨で甚大な被害を受けた吉田川沿川の床上浸水被害の早期解消を図るため、新規事業として「床上浸水対策特別緊急事業」を立上げ、河道掘削を推進するとともに、遊水地群整備に向けた調査設計を行います。

東日本大震災により被災した旧北上川堤防等の河川管理施設については、平成29年度約138億円の予算をもって、復興推進を図ります。

○国土交通省計上分　計　約31億円

１．河川事業（鳴瀬川 1,586百万円，北上川下流 988百万円）

北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川などの管理区間において、堤防整備及び河道掘削等を実施します。

２．床上浸水対策特別緊急事業（吉田川　520百万円）

吉田川上流（遊水地群）の調査設計、吉田川の河道掘削等を実施します。

○復興庁計上分　　計　約138億円

１．東日本大震災復興河川改修事業（北上川下流 約6,847百万円）

平成23年の東日本大震災による被害を踏まえ、堤防整備・液状化対策を実施するとともに、堤防敷にかかる用地取得に取り組みます。

２．東日本大震災災害復旧事業（北上川下流　約6,988百万円）

平成23年の東北地方太平洋沖地震による津波により甚大な被害を受けた河口部の堤防整備等を実施し、旧北上川の復興推進を図ります。

平成29年度は、引き続き堤防・護岸等の復旧を実施するとともに、堤防敷にかかる用地取得に取り組みます。

上記金額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。

北上川下流河川事務所記者発表についてはホームページでご覧になれます。
ホームページアドレス【http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index.html】

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所

宮城県石巻市蛇田字新下沼８０　電話：０２２５－９５－０１９４（代表）

＜事業全般＞	技術副所長（事業）	白戸（しろと） 孝（こう）	（内線２０４）
＜北上川、旧北上川、江合川＞	工務第一課長	髙田（たかだ） 浩穂（ひろほ）	（内線３１１）
＜鳴瀬川、吉田川、新規床上＞	工務第二課長	土田（つちだ） 昭夫（あきお）	（内線３２１）

事　業　の　方　針

北上川下流河川事務所では、平成２９年度も引き続き、北上川下流及び鳴瀬川沿川地域の安全で安心できる社会基盤の形成、良好な水辺環境の保全、さらには個性豊かで活力ある地域づくりの支援を目指して、河川事業の推進を図ります。

河川事業では、北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川など総延長 210.5km、総面積 7,440ha におよぶ所管区域の改修工事・維持管理等を実施しています。

平成 27 年 9 月に発生した関東・東北豪雨のような出水にも対応するため、流下能力対策（築堤、河道掘削）等を行い、治水安全度の向上を図るとともに、床上浸水対策特別緊急事業による河道掘削の推進、遊水地群整備に向けた調査設計を行い、床上浸水被害の解消を目指します。

また、河川復旧・復興事業では、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により被災した旧北上川河口部の堤防等の復旧・復興工事を実施しており、引き続き堤防等の整備推進及び、堤防整備に伴う用地取得の推進を図ります。

平成 29 年度 北上川下流河川事務所事業費総括表

国土交通省計上分

（事業費）

（単位：億円）

予算科目		平成29年度（当初）		平成28年度（当初）		H29/H28当初比		備考
河川事業		北上川下流 鳴瀬川	計	北上川下流 鳴瀬川	計	北上川下流 鳴瀬川	計	
	河川改修費（一般改修）	9.88 15.86	25.74	10.91 21.10	32.01	0.91 0.75	0.80	
	床上浸水対策特別緊急事業	－ 5.20	5.20	－ －		－ －	－	 新規事業
	河川工作物関連応急対策事業費	0.89 3.55	4.44	－ 2.05	2.05	－ 1.73	2.17	
	総合水系環境整備事業費	1.34 －	1.34	1.01 －	1.01	1.33 －	1.33	
	河川事業計	12.11 19.41	31.52	11.92 23.15	35.07	1.02 0.84	0.90	
合計		31.52		35.07		0.90		

※受託工事費・調査費等は除く

＜＜参考＞＞復興庁計上分

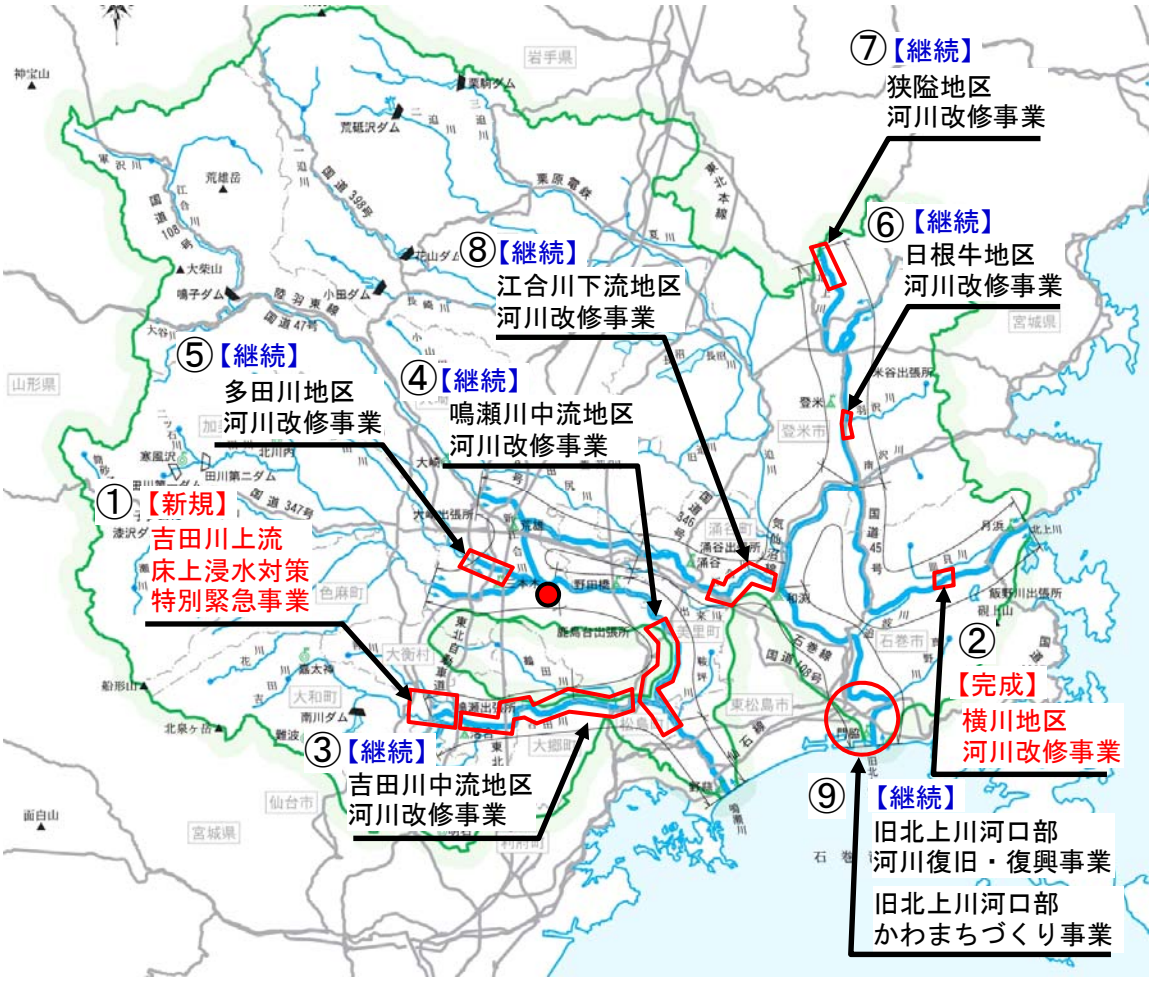
（事業費）

（単位：億円）

予算科目		平成29年度（当初）		平成28年度（当初）		H29/H28当初比		備考
東日本大震災復旧・復興河川整備事業		北上川下流	計	北上川下流	計	北上川下流	計	
	河川改修費 復興枠	68.47	68.47	77.13	77.13	0.89	0.89	
東日本大震災災害復旧事業		北上川下流	計	北上川下流	計	北上川下流	計	
	河川等災害復旧事業費	69.88	69.88	70.12	70.12	1.00	1.00	
合計		138.35		147.25		0.94		

※上記金額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。

管内河川及び主要事業箇所位置図



● は、危機管理型ハード対策実施箇所を示す

No	水系	河川	地区名	区分
①	鳴瀬川	吉田川	吉田川上流床上浸水対策特別緊急事業	新規
②	北上川	北上川下流	横川地区河川改修事業	完成
③	鳴瀬川	吉田川	吉田川中流地区河川改修事業	継続
④	鳴瀬川	鳴瀬川	鳴瀬川中流地区河川改修事業	継続
⑤	鳴瀬川	多田川	多田川地区河川改修事業	継続
⑥	北上川	北上川下流	日根牛地区河川改修事業	継続
⑦	北上川	北上川下流	狭隘地区河川改修事業	継続
⑧	北上川	江合川	江合川下流地区河川改修事業	継続
⑨	北上川	旧北上川	旧北上川河口部河川復旧・復興事業 旧北上川河口部かわまちづくり事業	継続

（主要事業の概要）

【新規事業】

吉田川上流床上浸水対策特別緊急事業
くろかわぐんたいわちょう・おおひらむら
（黒川郡大和町・大衡村）



計画概要

① 事　業　年　度　：平成29年度～平成34年度（予定）
② 計　画　諸　元　：遊水地、河道掘削、築堤
③ 平成29年度事業費　：約520百万円

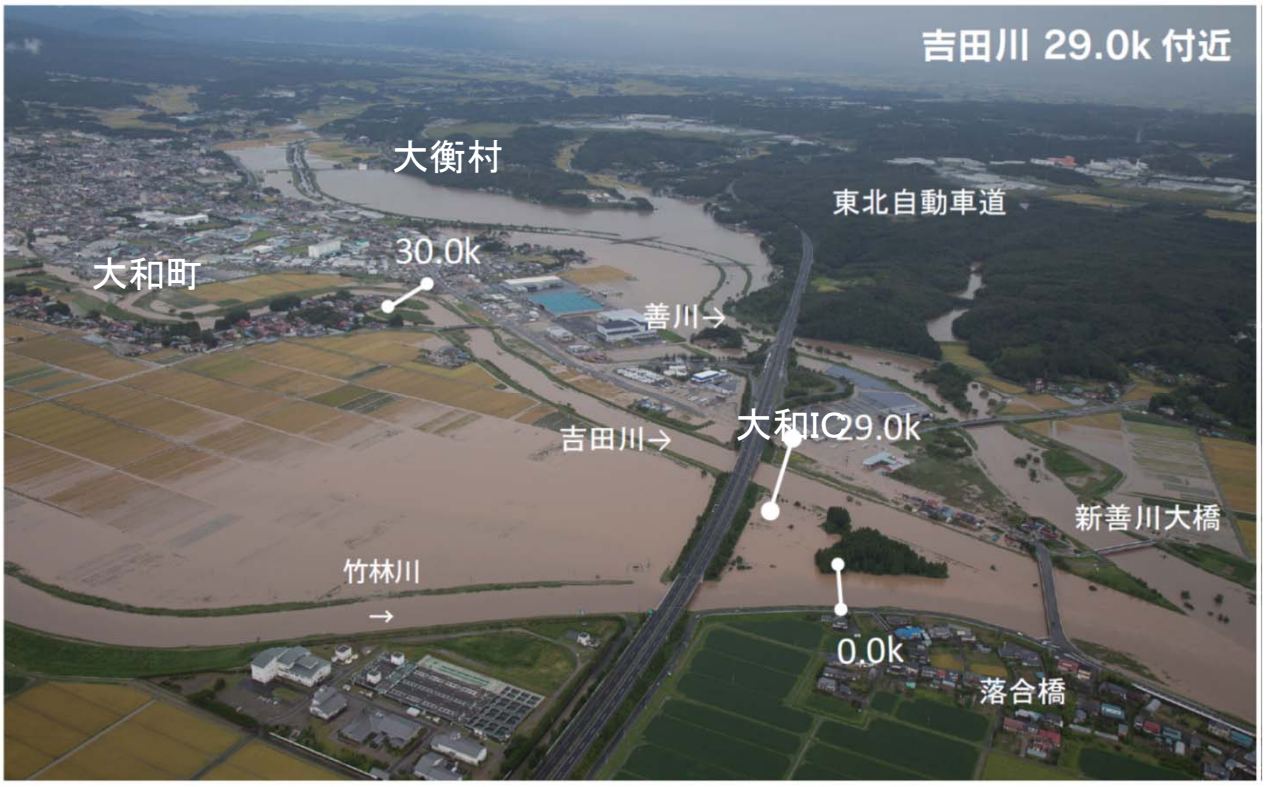
事業概要

本事業は、平成27年9月関東・東北豪雨において甚大な被害を受けた、吉田川上流部において、床上浸水被害を解消するため、遊水地群の整備や河道掘削・築堤整備を行います。

今年度は、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で浸水被害が発生した吉田川上流地区において河道掘削を実施し、流下能力の向上を図ります。
また、遊水地群整備に向けた調査設計を行います。

（参考）

平成27年9月関東・東北豪雨における吉田川上流（大和町内）の浸水被害状況




商業店舗の浸水状況


大和IC付近の浸水
（大和町広報誌「広報たいわ」より）


住宅地の冠水
（大和町広報誌「広報たいわ」より）


幹線道路の浸水状況
（大和町広報誌「広報たいわ」より）

（主要事業の概要）

【完成事業】

横川地区河川改修事業
（石巻市）



計画概要

① 事　業　年　度　：平成21年度～平成29年度（完成）
② 計　画　諸　元　：堤防整備
③ 平成29年度河川事業費：約988百万円　※北上川下流全体の河川改修費

事業概要

北上川右岸横川地区の堤防は、幅や高さが不足している暫定堤防となっており、また、出水時には内水による浸水被害が発生していることから、横川地区において、築堤及び排水機場の改築を実施します。

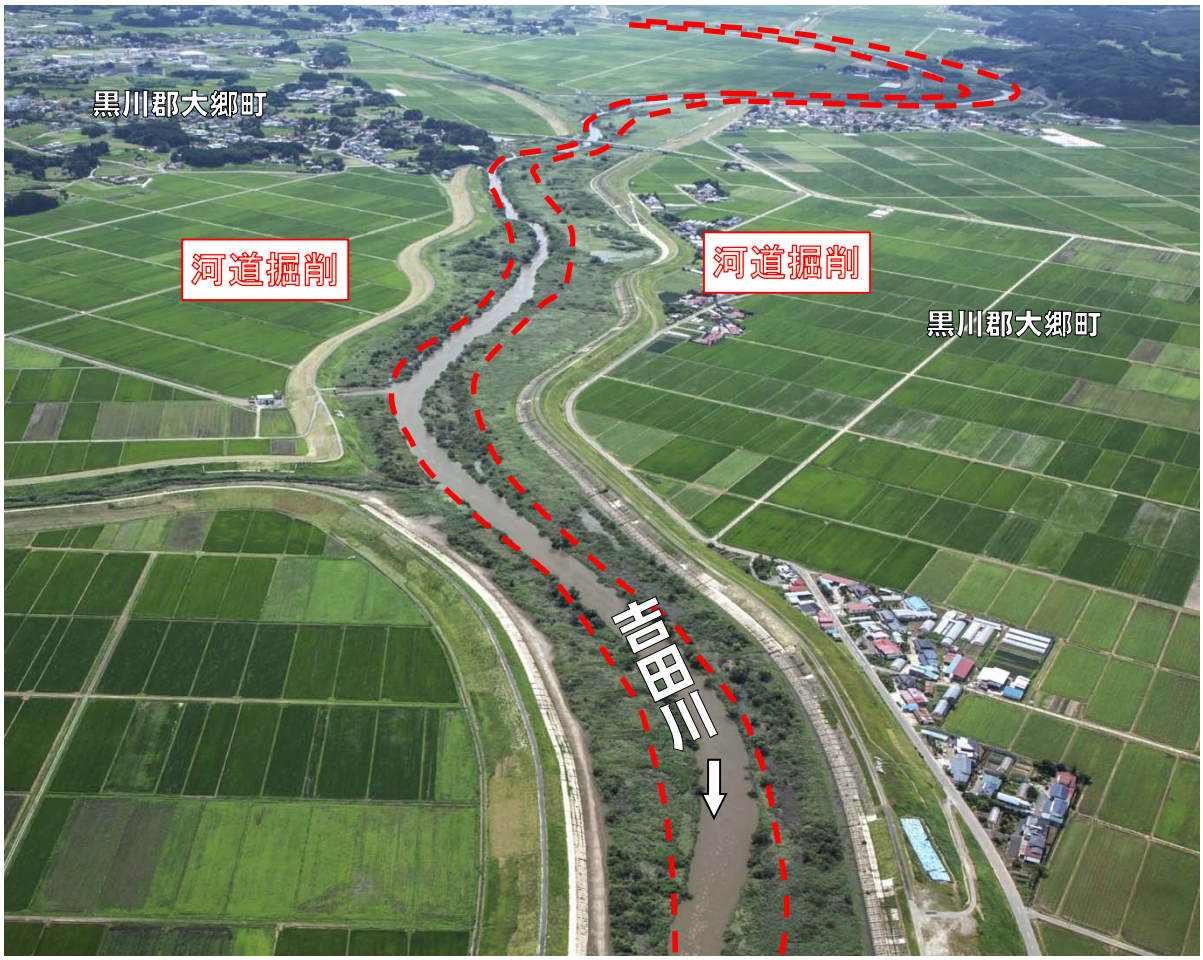
築堤により、堤防決壊時に想定される約90戸の家屋浸水被害を防止し、排水機場の改築により、内水による浸水被害を解消します。

今年度は、築堤を行い、当該地区の事業を完成させます。

（主要事業の概要）

【継続事業】

吉田川中流地区河川改修事業
（黒川郡大和町、大郷町）



計画概要

① 事　業　年　度　：平成27年度～平成30年代（予定）
② 計　画　諸　元　：河道掘削
③ 平成29年度河川事業費：約1,586百万円　※鳴瀬川全体の河川改修費

事業概要

鳴瀬川水系の吉田川中流地区においては、人口・資産が集中しているものの、河川の流下力が不足しているため、河道掘削を行い治水安全度の向上を図ります。

今年度は、特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で、吉田川中流地区全川で計画高水位を超過し、堤防越水による浸水被害が生じていることから、大和町及び大郷町において河道掘削を実施し、河川の水位を低下させます。

（主要事業の概要）

【継続事業】

鳴瀬川中流地区河川改修事業
（大崎市（おおさきし）、遠田郡美里町（とおだぐんみさとまち））



計画概要

① 事　業　年　度　：平成27年度～平成30年代（予定）
② 計　画　諸　元　：堤防整備
③ 平成29年度河川事業費：約1,586百万円　※鳴瀬川全体の河川改修費

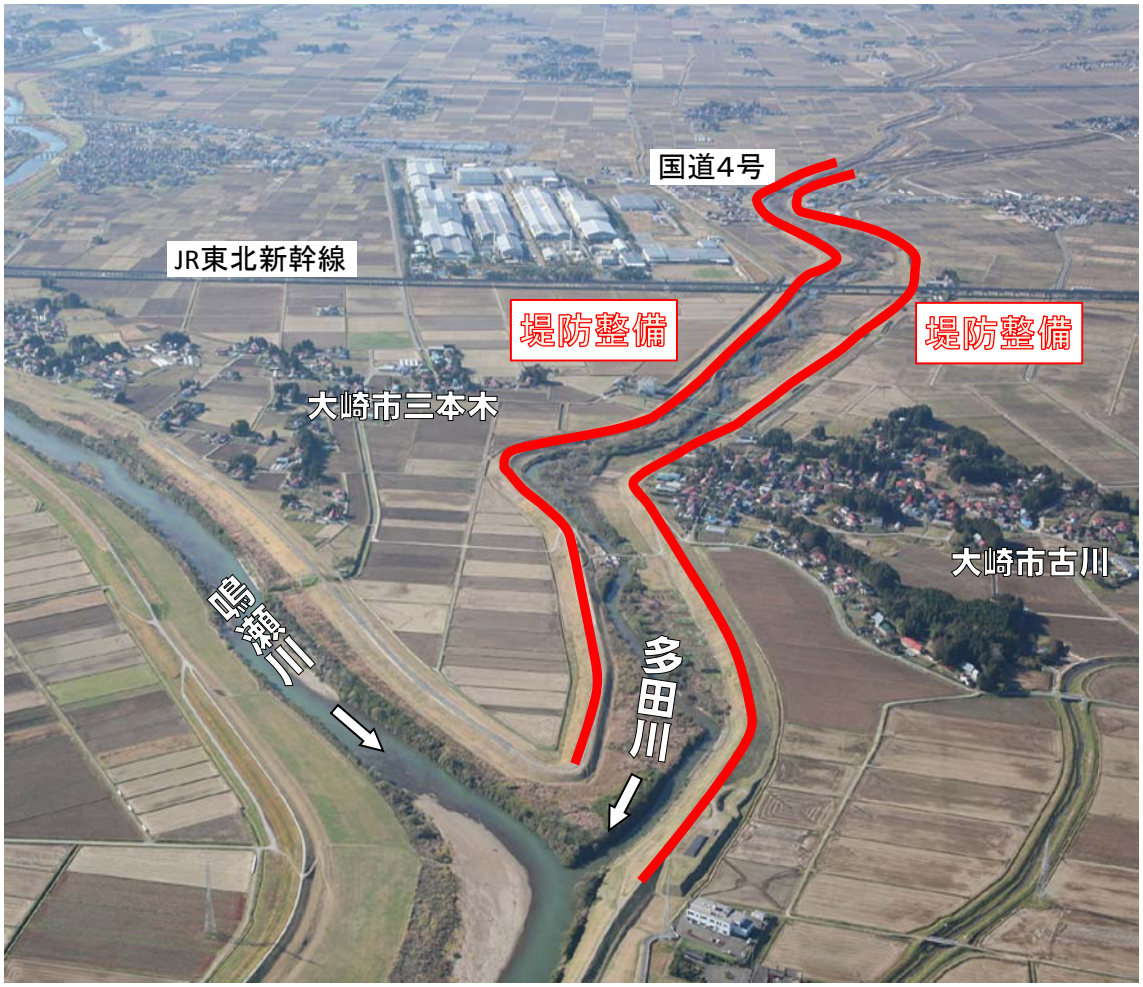
事業概要

堤防の断面や高さが不足している鳴瀬川中流地区において、堤防の完成堤化を行います。
今年度は、特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で、堤防天端付近まで水位が上昇していることから、鳴瀬川右岸（大崎市）において堤防整備を実施し、事業の推進を図ります。

（主要事業の概要）

【継続事業】

多田川地区河川改修事業
（大崎市）



計画概要

① 事　業　年　度　：平成元年度～平成30年度（予定）
② 計　画　諸　元　：堤防整備
③ 平成29年度河川事業費：約1,586百万円　※鳴瀬川全体の河川改修費

事業概要

堤防の高さ・幅が不足し、背後に人口資産が密集する鳴瀬川支川の多田川地区において、堤防の完成堤化を行います。

今年度は、特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で、堤防天端付近まで水位が上昇していることから、堤防整備を実施し、事業の推進を図ります。

（主要事業の概要）

【継続事業】

日根牛地区河川改修事業
（登米市）



計画概要

① 事　業　年　度　：平成20年度～平成30年代（予定）
② 計　画　諸　元　：堤防整備
③ 平成29年度河川事業費：約988百万円　※北上川下流全体の河川改修費

事業概要

北上川の左岸、登米市日根牛地区の堤防は幅や高さが不足しているほか、堤外地（※注）に家屋が存在していたため、近年では平成10 年、平成14 年、平成19 年と頻繁に浸水被害が生じています。このため、宮城県・登米市と連携して堤防強化を進め、浸水被害の解消と治水安全度の向上を図るもので、平成24年度から工事に着手しています。

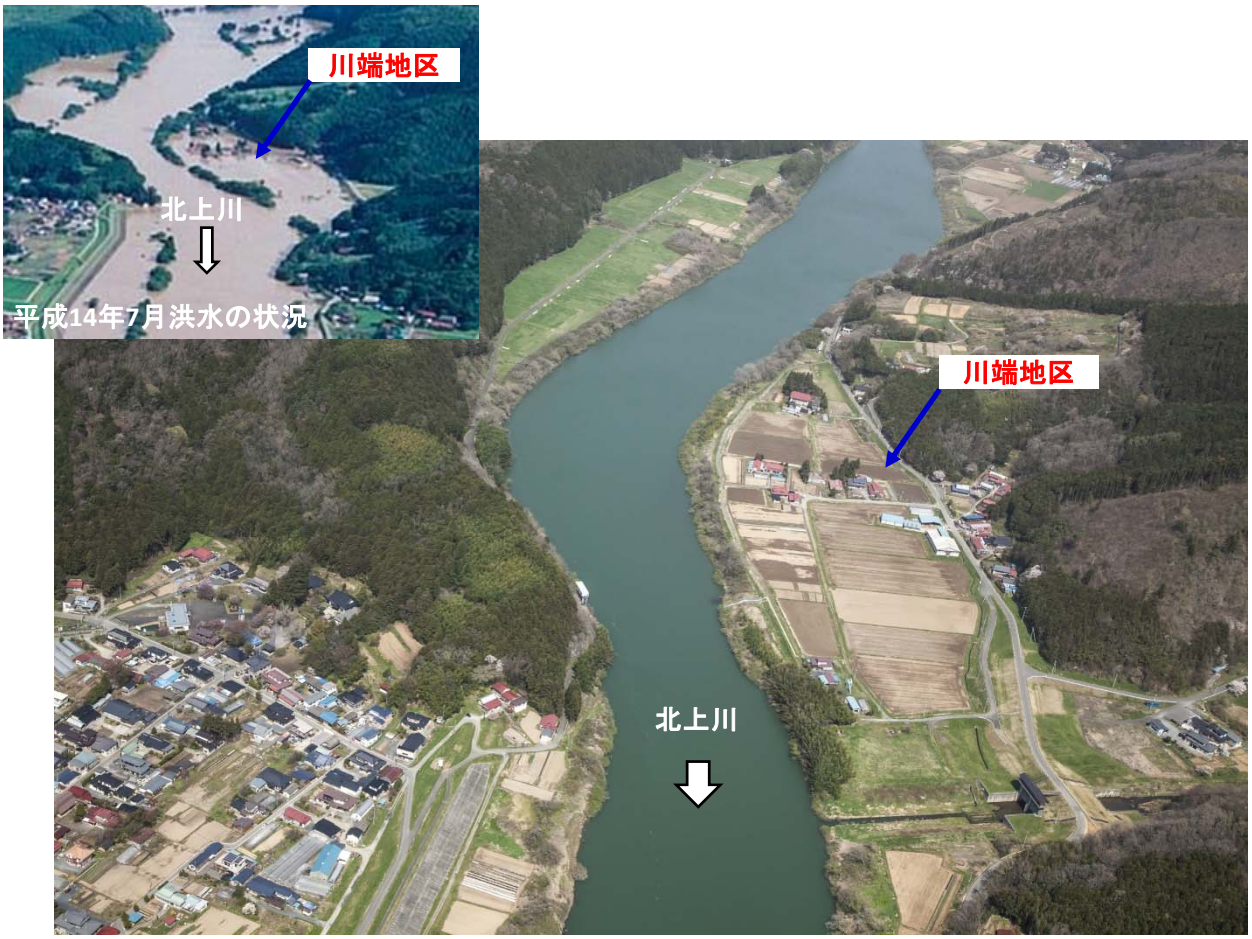
今年度は、地盤改良、築堤・道路盛土を実施し、事業の推進を図ります。

（※注）堤防を境に河川側の敷地を、堤防よりも外側という意味で「堤外地」と言う。

（主要事業の概要）

【継続事業】

北上川下流狭隘地区河川改修事業
（登米市）



計画概要

① 事　業　年　度　：平成28年度～平成32年度（予定）
② 計　画　諸　元　：堤防整備等
③ 平成29年度河川事業費：約988百万円　※北上川下流全体の河川改修費

事業概要

北上川下流狭隘地区は、洪水時の水位上昇が早く、近年では平成14 年、平成19 年と浸水被害が生じており、ハード・ソフト一体となった治水対策を実施します。

（主要事業の概要）

【継続事業】

江合川下流地区河川改修事業
（石巻市（いしのまきし）、涌谷町（わくやちょう））



計画概要

① 事　業　年　度　：平成27年度～平成32年度（予定）
② 計　画　諸　元　：河道掘削
③ 平成29年度河川事業費：約988百万円　※北上川下流全体の河川改修費

事業概要

江合川下流地区の背後地（涌谷町市街地）には、人口・資産が集中しているものの、江合川下流の流下能力が不足していることから、河道掘削を行い治水安全度の向上を図ります。

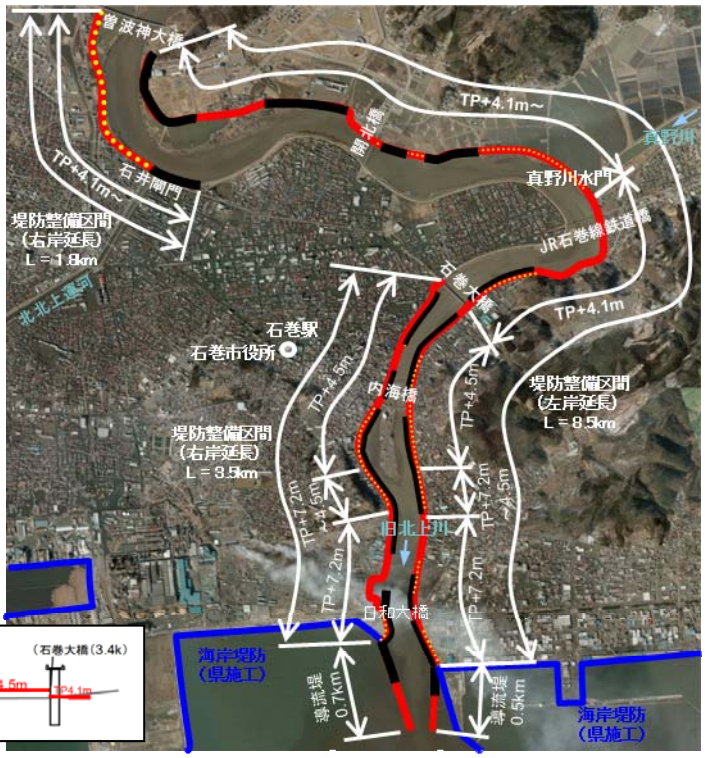
今年度は、特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で、計画高水位付近まで水位が上昇していることから、河道内の水位を低減させるため、江合川下流部の河道掘削を実施し、事業の推進を図ります。

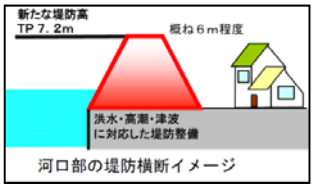
（主要事業の概要）

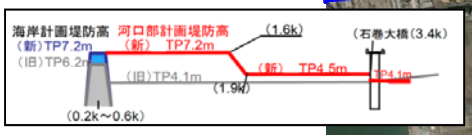
【継続事業】

旧北上川河口部復旧・復興事業
（石巻市）

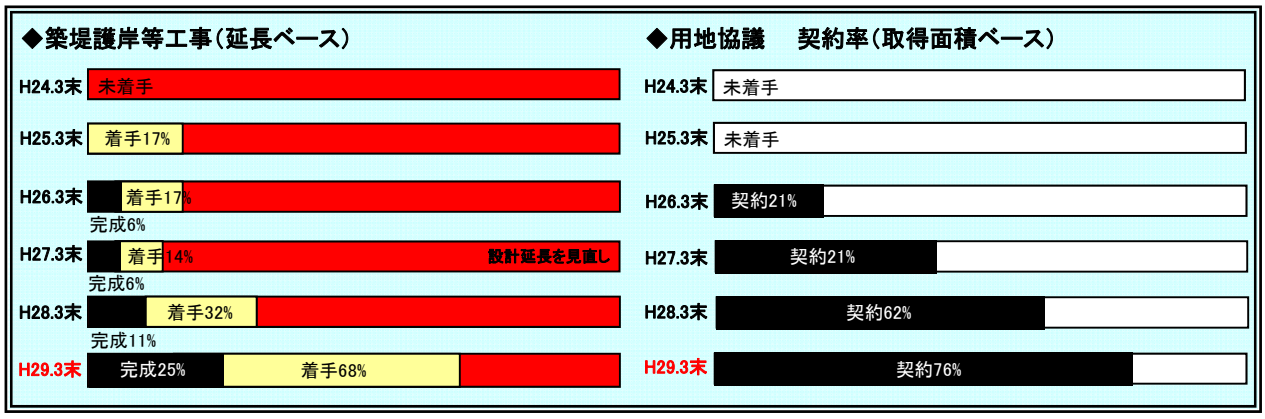
築堤護岸延長	：	約 13.8 km
導流堤延長	：	約 1.2 km
全体延長	：	約 15.0 km







事業の進捗状況（H29年3月末）



事業概要

旧北上川河口部は、東日本大震災により甚大な被害を受けたことから、石巻市の復興まちづくり計画等と連携しながら、平成32年度完了を目指し河川堤防等の整備を実施します。

◎ 平成29年度事業費（北上川下流全体）

災害復旧事業（復興庁計上分）：約6，988百万円

東日本大震災復興河川整備事業（復興庁計上分）：約6，847百万円

（主要事業の概要）

【継続事業】

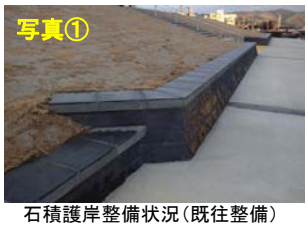
石巻地区かわまちづくり事業

（石巻市）





中央地区築堤整備状況



石積護岸整備状況（既往整備）



ボラード整備状況（既往整備）

計画概要

① 事　業　年　度　：平成26年度～平成37年度（予定）
② 計　画　諸　元　：石積護岸、捨石（護岸修景）、自然護岸（植生・捨石）
　　親水階段（かわど）、階段　等
③ 平成29年度河川事業費：約134百万円　※北上川下流全体の総合水系環境整備事業費

事業概要

石巻市では「石巻震災復興基本計画」及び「水辺の緑のプロムナード計画」において、堤防整備と併せてプロムナードを整備し、水辺と親しむことができる空間づくりを目指しています。

本計画では、震災からの復旧・復興の堤防整備や土地区画整理と併せ、国土交通省が親水護岸や管理用通路などを整備するとともに、石巻市が拠点施設の整備や休憩施設等を整備することにより、災害に強く地域住民が安全に生活できる居住環境を確保した上で、市民や観光が賑わい集い交流できる水辺空間を創出し、地域の活性化を推進します。

（主要事業の概要）

【継続事業】

「水防災意識社会　再構築ビジョン」危機管理型ハード対策

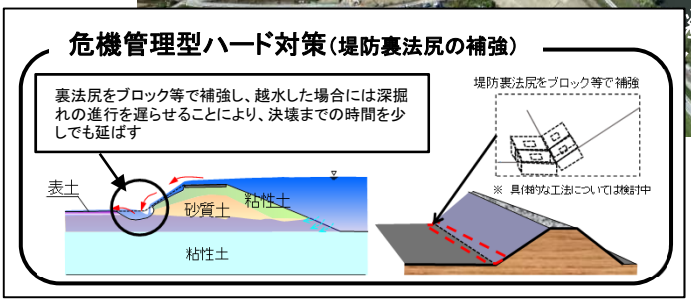
（大崎市（おおさきし））

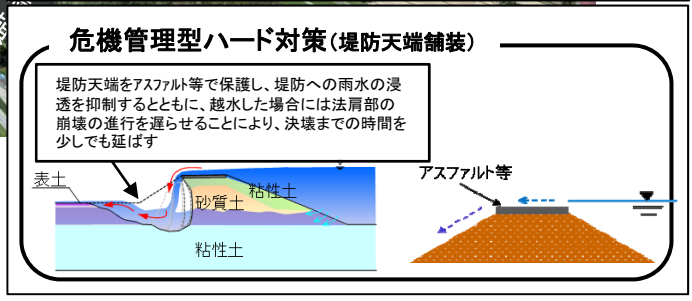


住民目線のソフト対策

河川管理者、県、市町村、水防管理団体等からなる協議会で減災のための目標を共有

住民等の行動につながるリスク情報の周知	事前の行動計画作成、訓練の促進	避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
ハザードマップの改良等	タイムラインの策定等	スマートフォンを活用したプッシュ型洪水予報の配信等





計画概要

① 事　業　年　度　：平成28年度～平成32年度（予定）
② 計　画　諸　元　：堤防天端舗装、堤防裏法尻補強
③ 平成29年度河川事業費：約1,586百万円　※鳴瀬川全体の河川改修費

事業概要

国土交通省では、「水防災意識社会　再構築ビジョン」※によるハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進することとしており、当事務所では、平成27年9月関東・東北豪雨で被害の大きかった鳴瀬川・吉田川・江合川において、大規模氾濫に対する減災に向けた取組みを、国、県、市町村が連携・協力して、計画的に推進するため「鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」を設立しております。

今年度は、特に、平成27年9月関東・東北豪雨による出水で水位も高かった大崎市において、「危機管理型ハード対策」として堤防天端保護を行います。

※【水防災意識社会　再構築ビジョン】アドレス
http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html